

## 総務委員会会議録

- 1 期 日 平成28年9月15日(木)
- 2 会 場 第3委員会室
- 3 開会時刻 午後 0時58分  
(休憩 無し)
- 4 閉会時刻 午後 2時00分
- 5 出席者  
委員長 鈴木久男 副委員長 野口安男  
委員 内藤澄夫 委員 栞原通泰  
" 鷺山喜久 " 二村禮一  
" 窪野愛子 " 松本 均  
  
当局側出席者 市長、総務部長、総務部付参与、企画政策部長、  
危機管理監、消防長、水道部長、  
会計管理者、所管課長、主幹、室長、議会事務局長  
  
事務局出席者 議事調査係 鈴木  
  
欠席者 南部行政局長
- 6 審査事項  
・議案第93号 平成28年度掛川市一般会計補正予算(第2号)について  
第1条 歳入歳出予算の補正  
歳入中 所管部分  
歳出中 第2款 総務費  
第9款 消防費  
第12款 公債費  
第13款 予備費  
第2条 地方債の補正  
・議案第99号 平成28年度東山財産区特別会計補正予算(第1号)について  
・議案第102号 平成27年度掛川市水道事業会計剰余金の処分について
- 7 協議事項 ・閉会中継続調査申し出事項について 10項目
- 8 会議の概要 別紙資料のとおり

以上のとおり、報告いたします。

平成28年9月15日

市議会議長 竹嶋善彦様

総務委員長 鈴木久男

## 8 会議の概要

平成28年9月15日（木）午後0時58分から、第3委員会室において全委員出席のもと開催。

1) 委員長あいさつ

2) 当局（市長）あいさつ

3) 付託案件審査

- ①議案第93号 平成28年度掛川市一般会計補正予算（第2号）について
- |     |           |
|-----|-----------|
| 第1条 | 歳入歳出予算の補正 |
| 歳入中 | 所管部分      |
| 歳出中 | 第2款 総務費   |
|     | 第9款 消防費   |
|     | 第12款 公債費  |
|     | 第13款 予備費  |
| 第2条 | 地方債の補正    |

第12款 公債費、第13款 予備費、第2条

〔財政課、説明 13:02 ～13:07 〕

〔質 疑 なし 〕

○鈴木久男委員長

財政課の説明に対する質疑をお願いします。

○鈴木久男委員長

以上で質疑を終了する。

第2款 総務費

〔管財課、説明 13:08 ～ 13:11 〕

〔質 疑 13:11 ～ 13:19 〕

○鈴木久男委員長

管財課の説明に対する質疑をお願いします。

○栗原通泰委員

19頁の地籍調査費県補助金について、宮脇北工区調査事業費分を皆減することになった。5地区要望した中で、宮脇が不採択となった。この場所は住宅密集地でもあり、早期に実施した方がメリットが大きいと思う。採択するときの判断基準は何か。

●平松管財課長

既に事業を行っている地区で、1工区目が終わり、次が2工区目になるところが採択されやすい。また、他の交付金事業、例えば道路整備を行う所が優先して採択される。さらに、防災上危険がある所が優先度が高くなっている。そのようなことから、今回は5地区申請して、4地区が採択された。

しかし、市内では重要なところなので、29年度は採択されると考えている。

○鷺山喜久委員

29年度には、宮脇が採択されるということだが、間違いはないのか。

●平松管財課長

掛川として、第1番目として要望していく。最低でも1地区は採択されると考えている。採択

されると思っている。

○鈴木久男委員長

大きな課題であり、合併の際の格差是正などいろんな課題があり、都市計画税を南部地区にも賦課するののかしないののかの議論があった。自分も全部で6回くらい一般質問を行った。市長も困って第三者に結論を委ねるため、学者も入り、懇話会を設置した。その結果、都市計画税を賦課するのが適正であると結論が出た。再度スタートする中で、地籍調査を実施した所と未実施の所は、「ぶ伸び」が非常にあり、特に宅地については、評価額が高いので、早めに是正しないと、不公平感が縮まらない。

市長はその時からの経緯を知っているが、職員は人事異動があり、人が変わってしまうので、このような経緯を理解して、30年プランを進めて欲しい。完全実施を行わない限り、不公平感は埋まらないので、念頭に置いて引き続き公務を執行して欲しい。本来は一般質問を行いたいが、総務委員長の立場がありできないのでこの場で説明を求める。

●平松管財課長

今の話は充分承知して事業を行っている。

30年プランの計画より上回っていても、それでよしとせず、少しでも早く終わるように考えながら来年度もより加速して事業ができるように、予算要求等もしていきたいと思う。

○鈴木久男委員長

5年前の東日本震災以降、予算付けが悪いと言われているが、それでは進捗にも影響してくるので、計画的に目的を達成して欲しい。

●平松管財課長

今後も国の制度等、予算取りの方法を研究し、事業の進捗を図って行きたい。

○鈴木久男委員長

以上で質疑を終了する。

[企画調整課、説明 13:20 ~13:21 ]

[質 疑 なし ]

○鈴木久男委員長

企画調整課の説明に対する質疑をお願いする。

○鈴木久男委員長

以上で質疑を終了する。

[文化振興課、説明 13:22 ~13:25 ]

[質 疑 13:25 ~ 13:40 ]

○鈴木久男委員長

文化振興課の説明に対する質疑をお願いする。

○窪野愛子委員

35頁の市民文化振興事業費について、茶エンナーレは2年目になるが、まだまだ市民に浸透していない。情報発信のために広報活動を強化するということだが、具体的内容は。

●富田文化振興課長

茶エンナーレについては、どんなことを実施するのかという声をいろんな場面で聞いている。そのため、8月から茶エンナーレセッションというワークショップやシンポジウム、イベントの開催を通じて、実行委員会で検討している来年度の茶エンナーレの内容や、どのように市民に参加してもらうのか。その様なことを実行委員会と共に、市民の方と一緒に考える機会を茶エンナーレセッションをシリーズ的に開催していく。この事業を通じて理解を深めてもらう。また、来

年度の茶エンナーレに向けてどのようなことを実施するのか、HPやチラシ、ポスターなどの広報物を使った広報も十分ではないので、実行委員会で事業内容を固めている。1年前にもなるので、その段階毎に情報発信できることを積極的に発信していきたいと考えている。

セッションの内容は、8月に開催したときには親子で参加出来るキッズアートをたまり〜などで開催した。子ども達にはお茶の葉をイメージした大きなキャンパスに描いてもらった。すごく大きなキャンパスに絵の具を使って絵を描く機会があまりないので、200人を超す人に参加してもらった。そこで描いてもらった絵を庁舎に展示している。

NHKや新聞にも取り上げてもらったので、メディアにも取り上げてもらうことで、茶エンナーレを発信している。

今後は大人なども対象にいろんなテーマで実施していく予定である。

○窪野愛子委員

実行委員会の総合プロデューサの山口さんに対してはどのくらいの予算を付けているのか。

●富田文化振興課長

茶エンナーレは大きく分けて、プロの作家を対象としたアートプログラム、市民の方を対象としたエントリープログラム、その他おもてなし部分のプログラムなどがある。山口裕美さんはアートプログラムの部分で、どのような作家を呼ぶのか、どのような展示を行うのかなど、作家の間に入っている作家と調整している。実際掛川にも何人かの作家を連れてきて順番に現場を見たりしている。今年度は予算段階だが、プロデューサ料として100万円を計上している。

○二村禮一委員

茶文化創造千日プロジェクト事業について、ターゲットは市外の人を呼ぶのが目的なのか。

●富田文化振興課長

まずは、市民に見て楽しんでもらう。さらに、エントリープログラムで参加してもらうのが前提の目標となる。掛川の魅力、地域資源のようなものを市内外、県外の皆様に知ってもらうためには、県外からもたくさんの人にきてもらう事も、もう1つの目標である。

広報を実施する場合には、市民向け、県内外への広報の両方を目標にして取り組んでいる。

○鷲山喜久委員

自分の所にも茶エンナーレとは何かと問い合わせがある。抹茶の人にも呼ばれて話をされた。

掛川のために一生懸命お茶をやってくれている人もいるので、耳を傾けて欲しい。

国から補助金を受けるが、国から計画倒れや計画に対して国の査定が50%になり、50%は国に返還してくださいという可能性があるのか。

●富田文化振興課長

お茶関係者をはじめいろんな方から茶エンナーレがどのようなものか伝わってこないということを目にする。最近、茶商協同組合の皆様にも事業概要や進捗状況、関わり方について意見交換会を行った。

茶商組合からは、イベント期間中のお茶のおもてなしや商品化など従来から行われている内容に関わらず、もっと積極的に茶農家や茶商の皆さんがもっている地域資源、例えば茶畑や茶工場も活用して、展示やイベントができないかなどの非常に前向きな意見があった。茶商組合の若手の皆さんがチームを作ってください、継続的に意見交換しながら茶エンナーレをより良いものにしていこうとコミュニケーションを図っている。

補助金に関しては、必要な事業費を申請して補助金をもらっているもので、計画通り事業を執行して行くのが役目だと思う。事業内容を精査して進めていきたい。

○栗原通泰委員

次年度以降の補助金は交付されるのか。

●富田文化振興課長

来年度事業にも今年度と同じように2つの補助金が継続して交付されるように、しっかりした計画や補助申請を行ってきたい。

○栗原通泰委員

11月のお茶のイベントで東北大と九州大の教授の話が出たが、それに対する成果は期待できる内容になるのか、今まで通りなのか。

●松井市長

お茶振興課が所管となり、医療研究機関とタイアップしている。成果が出るような発表をしてもらいたいために、今回のシンポジウムを開催するので、何らかの成果があるようにしていきたい。

栗山先生は、まだしっかりした論文ができていないようなので、どのような発表になるのか。

もう少し、事業費を増やして研究しないと世界に発信できるような学会での発表はできないとも聞いている。当初は国がかなり予算を出していた。それを掛川が全て負担して研究してもらうことは難しい。ただ、農研機構の山本先生は何らかの成果を出してる。九州大学の立花先生も、いい発表ができるものと期待している。

○栗原通泰委員

掛川のお茶の海外進出を狙っている訳なので、それぞれが発表がかけ離れてしまうと問題があるので、それぞれの外国人向けの発表を含めた研究発表に期待する。

●松井市長

シンポジウムの時に、ミラノ博の時にイタリアでお茶の研究をしている人が、研究成果を発表していたので、その人を呼べないかと言ったが、予算が無くてダメだった。海外でも、お茶の効能の研究がスタートしている。今回のシンポジウムで新たな研究成果が出ることを期待している。

世界的に、すごい情報というわけでは無いが、今まで行ってきた緑茶の効能研究のステップアップをするような報告があると思っている。

○鈴木久男委員長

以上で質疑を終了する。

第9款 消防費

[消防総務課、説明 13:41 ~13:43 ]

[質 疑 13:43 ~13:50 ]

○鈴木久男委員長

消防総務課の説明に対する質疑をお願いします。

○栗原通泰委員

57頁の消防施設管理費について、マンホールはこの場所だけでは無いと思うが、他の場所も点検して異常が無かったのか。

●白畑消防長

毎年6月、7月に全ての箇所を点検しており異常は無い。ここはパッキンの劣化によって陽圧になっているので水漏れがあり修理の必要が発生した。

○栗原通泰委員

57頁の消防施設整備費について、93万9千円の追加とはどのようなことか。

●今駒消防総務課長

車両動態管理システムがあり、消防本部や指令センターから車両の居場所を特定できる装置がある。これを今までの古い車から、交付された新しい車に付け替える費用である。

○窪野愛子委員

水槽について、耐久年数はどのくらいか。

●今駒消防総務課長

防火水槽は50年だが、パッキン等については20年持てばという形である。

○窪野愛子委員

水槽自体が既に50年近く経っている水槽が多いのか。

●今駒消防総務課長

今の水槽は昭和61年に建設したものである。したがってパッキンは30年程度で劣化したと言うことになる。

○窪野愛子委員

地震に対しての水槽の考え方はどのようになっているのか。

●白畑消防長

既に整備している防火水槽は耐震化となっている。

今回は地震の時に飲料水として使える機能を持った飲料水兼用の防火水槽になる。以前から地震への備えは行っている。

○鷺山喜久委員

消防の方で各地の防火水槽を点検して発見したのか、あるいは自治会が訓練などで蓋を開けた時に発見したのか。

●白畑消防長

この箇所は地元の区長から少し水漏れがあるので点検して欲しいとの依頼があり確認を行い、修理することになった。市内の消火栓等は車の通行により、いろんな要望があるがその都度対応している。

○鷺山喜久委員

ぜひ頑張ってもらいたい。

○内藤澄夫委員

市道及び県道沿いに埋まっている消火栓がかなりある。消火栓が埋まっている回りの舗装が陥没している所がかなり多い。自分の地区でも半年に1回はチェックしている。中には行っていないところもあると思う。

非常に舗装が陥没している所は開かないのではないかと思うところがある。そのような場所のチェックはどのようにしているのか。

●白畑消防長

全ての消火栓について、毎年1回、開閉と水が出るか確認している。

また、長い年月が経って、舗装部分が傷むこともあるので、その都度補修したり、道路改修の時に対応している。

○鈴木久男委員長

以上で質疑を終了する。

〔討 論〕

なし

〔採 決〕

①議案第 93 号 平成28年度掛川市一般会計補正予算（第2号）について

第1条	歳入歳出予算の補正
歳入中	所管部分
歳出中	第2款 総務費
	第9款 消防費
	第12款 公債費
	第13款 予備費

第2条 地方債の補正

全会一致にて原案とおり可決

---

②議案第 99号 平成28年度東山財産区特別会計補正予算（第1号）について

〔行政課、説明 13:52 ～ 13:54 〕

〔質 疑 13:54 ～ 13:55 〕

○鈴木久男委員長  
行政課の説明に対する質疑をお願いします。

○窪野愛子委員  
茶草用の草刈りは、秋口から冬にかけて1回実施している。

●高鳥行政課長  
秋口から冬にかけて1回実施している。

○鈴木久男委員長  
以上で質疑を終了する。

〔討 論〕

なし

〔採 決〕

②議案第 99号 平成28年度東山財産区特別会計補正予算（第1号）について

全会一致にて原案とおり可決

---

③議案第102号 平成27年度掛川市水道事業会計剰余金の処分について

〔水道総務課、説明 13:56 ～13:58 〕

〔質 疑 なし 〕

○鈴木久男委員長  
水道総務課の説明に対する質疑をお願いします。

○鈴木久男委員長  
以上で質疑を終了する。

〔討 論〕

なし

〔採 決〕

③議案第102号 平成27年度掛川市水道事業会計剰余金の処分について

全会一致にて原案とおり可決

---

4) 協議事項

閉会中継続調査申し出事項 10項目

閉会中継続調査申し出事項 10項目で了承

5) 閉会 [ 14:00 ]